

保護者の皆様

仙台市立根白石小学校
校長 鶴田 忠幸

令和3年度 学校運営に関する評価の結果と考察

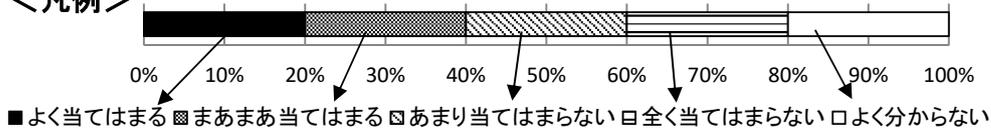
早春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃から本校の教育活動に対し、ご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、昨年12月に実施しました令和3年度の学校運営に対する保護者アンケートに、たくさんの保護者の方々にご協力をいただき、ありがとうございました。深く感謝申し上げます。皆様から寄せられたご意見とともに、児童の生活アンケート・教職員の自己評価、また、一部の項目については地域の方々からいただいた評価も加えてまとめましたので、お知らせいたします。

なお、評価から見えてきた課題については改善策を立て、来年度の学校運営に生かしてまいります。今後ともご理解・ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

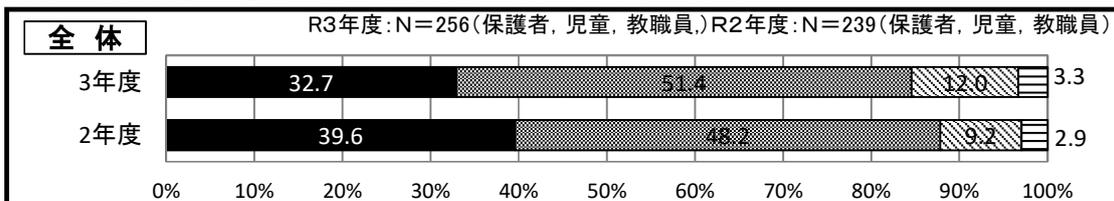
★ 各グラフの表記については、下の凡例を参考にしてください。

<凡例>



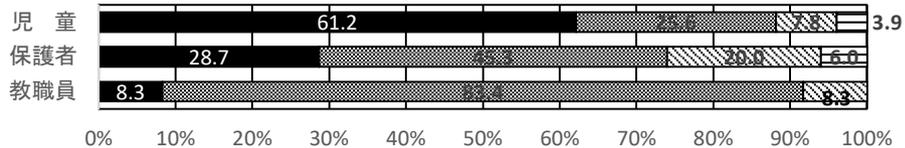
1 重点目標について

① 根小の子供たちは、宿題や自主勉強を自ら行い、毎日続けている。



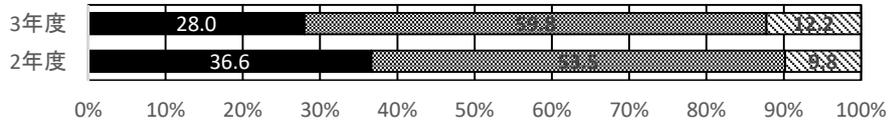
<R3年度内訳>

保護者: N=115 児童: N=129 教職員: N=12

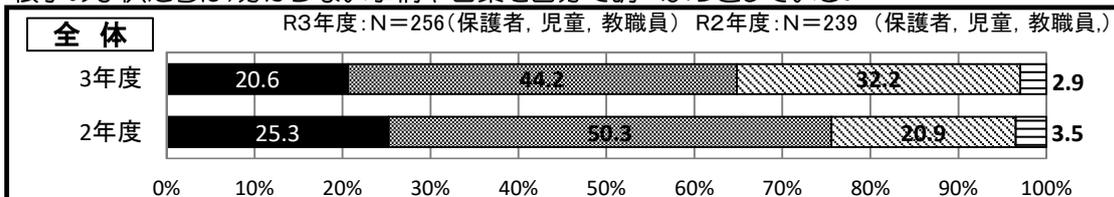


★家庭では、子供の家庭学習に取り組む様子を見守り、成長を褒めることで意欲の向上を図っている。(保護者)

R3年度: N=82 R2年度: N=71

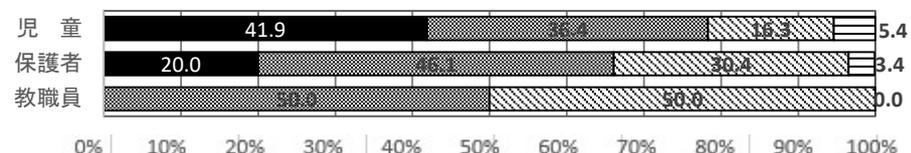


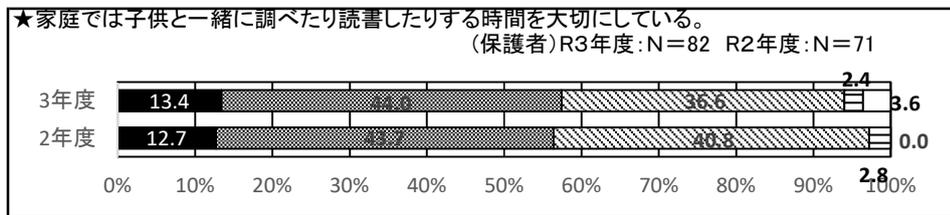
② 根小の子供たちは、分からない事柄や言葉を自分で調べようとしている。



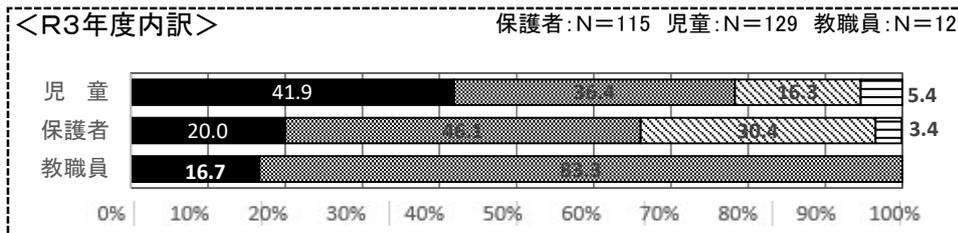
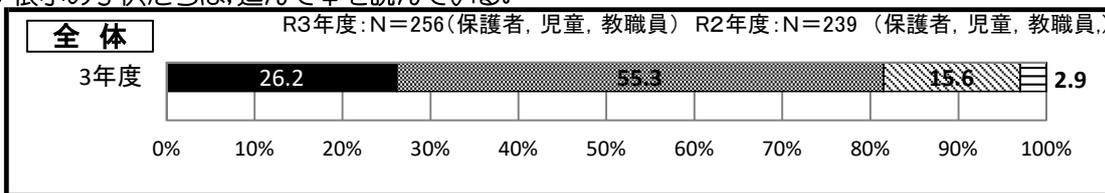
<R3年度内訳>

保護者: N=115 児童: N=129 教職員: N=12





③ 根小の子供たちは、進んで本を読んでいる。



<宿題や自主学習を続けている><分からないことを自分で調べる><進んで読書する>

今年度の重点目標は「自分から進んで学習課題に取り組む子供の育成」でした。

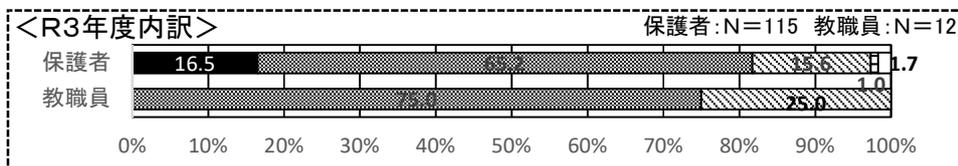
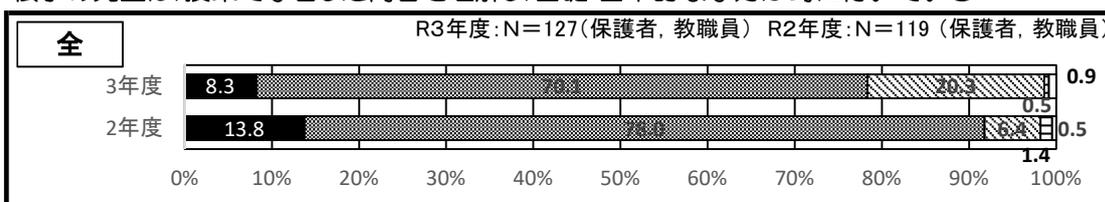
項目①を見ると、家庭学習は約85%の児童が定着しているようです。昨年度より数値は低下していますが、学校で自主学習の例を示したり、学年便り等で取組例を紹介したりしたことで、自主学習に取り組む児童も増え、内容面での質の高まりが見られています。しかし、約15%の児童は家庭学習の習慣が定着していないということで、昨年度より微増の傾向が見られます。次年度も、引き続き家庭学習の習慣が身に付くよう、学習カード等の活用を図りながら指導してまいります。また、★「子供の家庭学習に取り組む様子を見守り、成長を褒めることで意欲の向上を図っている。」に「当てはまる」と回答した家庭の割合は約85%で、昨年に引き続き高い傾向です。ご家庭での見守りや励ましが、児童の家庭学習を支える大きな力となっていますので、ご多用と思いますが引き続きご協力をお願いいたします。

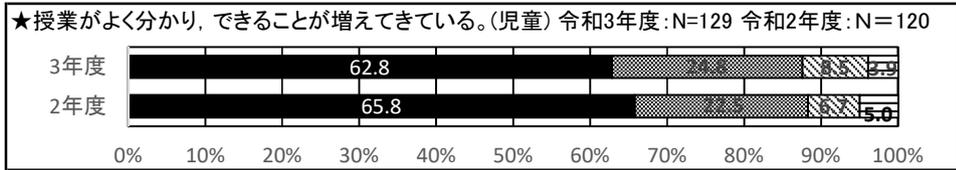
また、項目②「分からない事柄や言葉を自分で調べようとしている。」では、「当てはまる」との回答が70%を下回っております。学校では、Chromebookの本格活用を進めてきた8月以降、図書資料の活用とともに力を入れてきました。児童の自己評価の数値は80%に迫っており、意欲の高まりも見られています。引き続き、図書資料やChromebookを活用した調べ学習を日常的に取り入れ、自らの考えに生かして学習を深めていけるように指導してまいります。

★「家庭では子供と一緒に調べたり読書したりする時間を大切にしている。」に「あてはまる」と回答した割合は、昨年度から微増となっております。項目③「進んで本を読んでいる」の結果からも、学校とご家庭での子供たちの読書の取組の様子に違いが見られているようです。次年度は、学校での読書への意欲的な取組を少しでも家庭での習慣的な読書につなげられるように、学校でも工夫していきたいと思っております。ご家庭でもお子さんと一緒に調べたり読書したりする時間を持っていただき、児童の読書や調べ学習への意欲の向上にお力添えください。

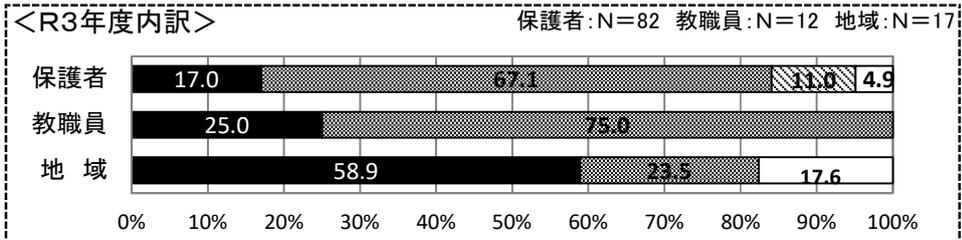
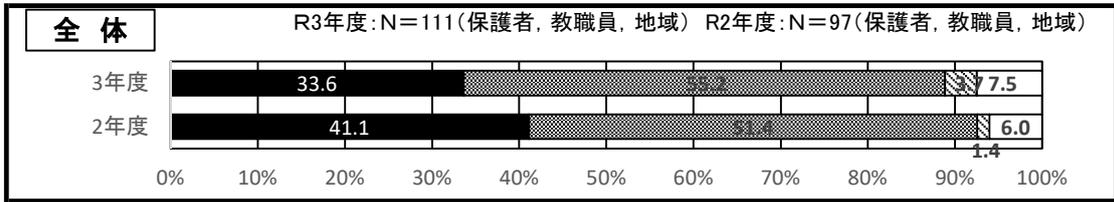
2 「笑顔あふれる楽しい学校」「いじめのない温かい学校」について

④ 根小の児童は、授業で学習した内容を理解し、基礎・基本的な学力が身に付いている。





⑤ 根白石小学校は、児童に基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けさせる、指導の工夫・改善に努めている。



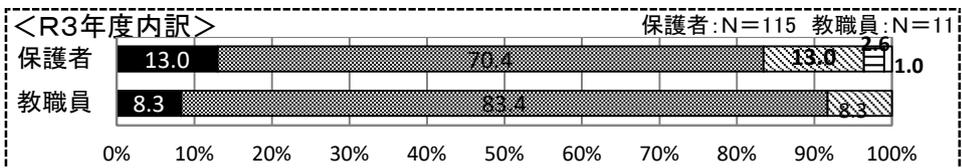
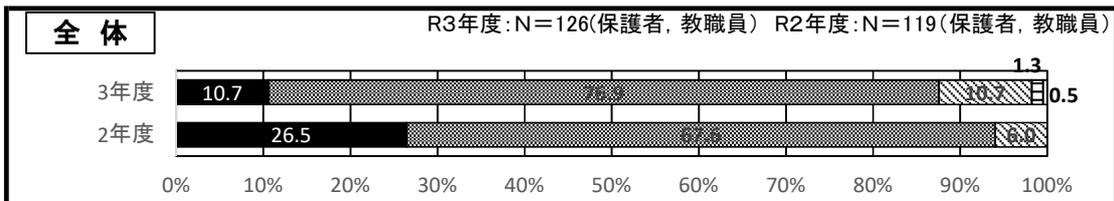
<基礎的・基本的な知識・技能の習得と指導の工夫>

項目④「根小の子供は、授業で学習した内容を理解し、基礎・基本的な学力が身に付いている。」では、昨年度より低下し、78%の回答者が「当てはまる」と答えています。★「授業がよく分かり、できることが増えてきている。」に「当てはまる」と回答した児童は87%に上り、昨年度に引き続き分かる喜びやできる楽しさを感じながら学習している児童が多い一方、「やや当てはまらない」「分からない」と回答した児童も10%程おり、保護者と教職員の回答と照らし合わせて見ても、すべての児童の習得を目指していくことが、次年度の課題だと考えています。

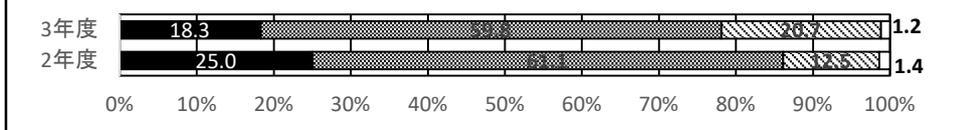
項目⑤「学校は児童に基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けさせる指導の工夫・改善に努めている。」では、85%以上の回答者が「当てはまる」と答えており、学校として取り組んでいることが地域や保護者の皆様にご理解いただいた結果と受け止め、うれしく思っております。

学校では、より基礎的・基本的な知識・技能の習得を目指し、朝のスキルタイムの活用を図っていく等、指導の工夫・改善を進めるとともに、一人一人によく分かる授業を提供できるよう努めてまいります。

⑥ 根小の児童は、家族や友達に対して、思いやりのある言葉遣いや接し方ができる。



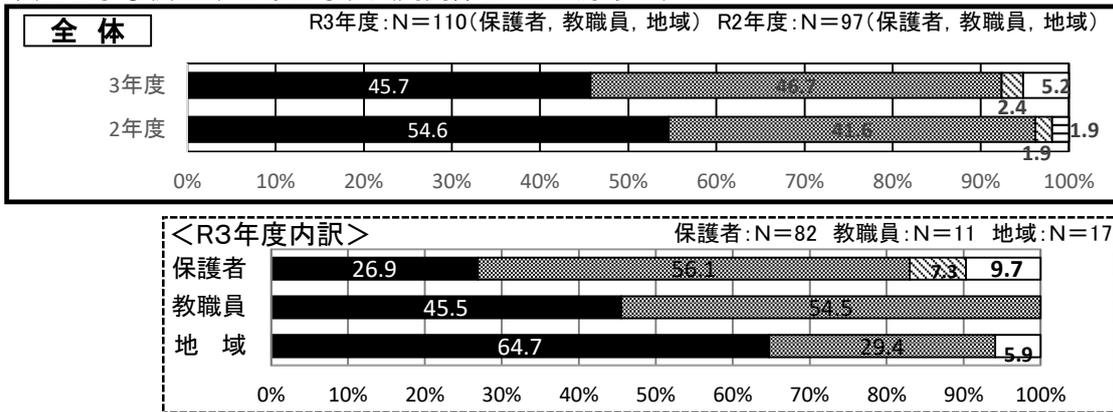
★家庭では、お子さんが望ましい言葉遣いが身に付くように、家族みんなで気を付けている。(保護者) R3年度:N=82 R2年度:N=72



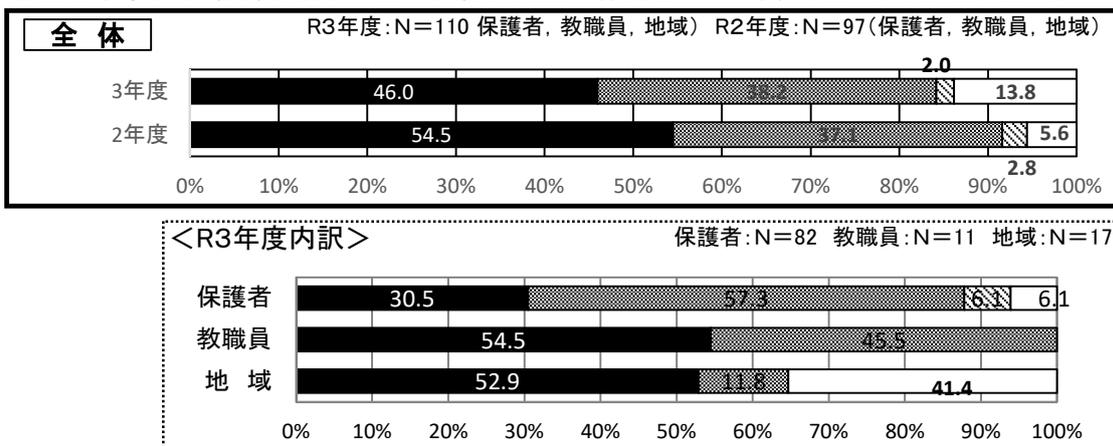
★友達をからかったり、乱暴をしたりするなど、人がいやがるようなことは絶対にしない。(児童) R3年度:N=129 R2年度:N=120



⑦ 根白石小学校は、いじめのない人間関係づくりに努めている。



⑧ 根白石小学校は、教育相談が十分に機能し、児童や保護者のニーズに則した対応をしている。



<思いやりのある言葉遣い、行動>

項目⑥「家族や友達に対して、思いやりのある言葉遣いや接し方ができる。」では、約88%の回答者が「当てはまる」と答えています。また、★「友達をからかったり、乱暴をしたりするなど、人がいやがるようなことは絶対にしない。」の質問に対して、約95%の児童が「当てはまる」と答え、中でも77%以上の児童が「とても当てはまる」と答えています。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの学習活動や学校行事の実施するにあたり、みんなでできることを協力しながら取り組んできました。もともと心優しい本校の児童ですが、お互いの頑張りを認め合いながら思いやりのある行動ができていますと感じます。次年度も引き続き、学校・家庭・地域が連携して思いやりのある子供たちの育成に当たってまいります。

<いじめのない人間関係づくり><教育相談とニーズに則した対応>

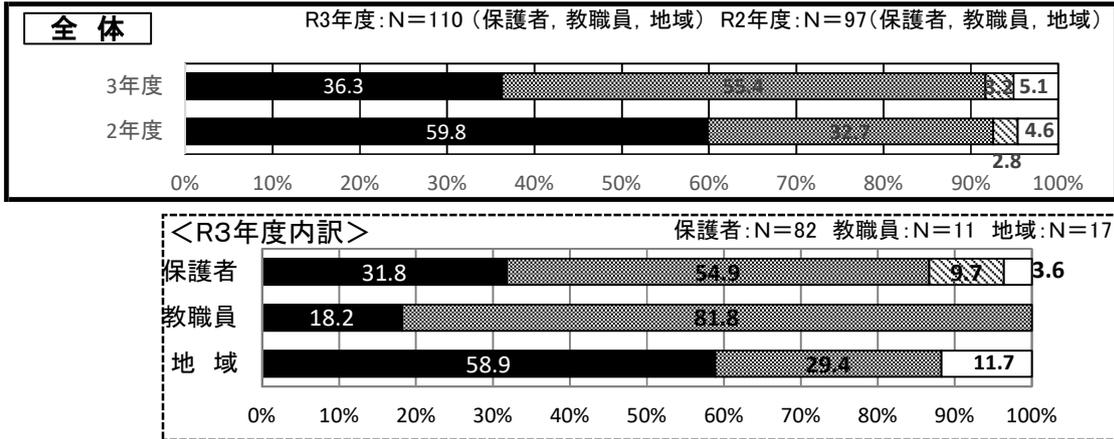
項目⑦の「いじめのない人間関係づくり」については、約90%の回答者が「おおむね良好」と評価し、約半数が一番よい評価(良好)で回答しています。本校は、保護者の皆様、地域の皆様のご協力もあり、児童にとって自分の居場所があり、安心して生活できる学校となっております。今後も、子供たちが互いの良さを認め合い、一人一人が持てる力を十分発揮できるような温かな学級・学校づくりを一層推し進めます。また、一昨年度作成しました「根白石小学校いじめ対策基本方針」は、機会あるごとに見直してまいります。ご意見等がある場合は、学校までお聞かせ願います。

項目⑧の「教育相談とニーズに則した対応」については、「おおむね良好」という割合が85%、昨年度よりやや低下したものの、学校では、お子さん一人一人を大切に、必要に応じて個別に相談をさせていただいておりましたので、高い評価をいただいたことをうれしく思います。来年度も、引き続き、お子さんや保護者の皆様の悩みをうかがい、一緒に考え、共に取り組んでいきたいと思っております。また昨年度より、「よく分からない」との回答も多くいただきましたので、より相談しやすい学校を目指し、日頃から児童や保護者の方との信頼関係の構築と取組への周知にも力を入れていきたいと思っております。

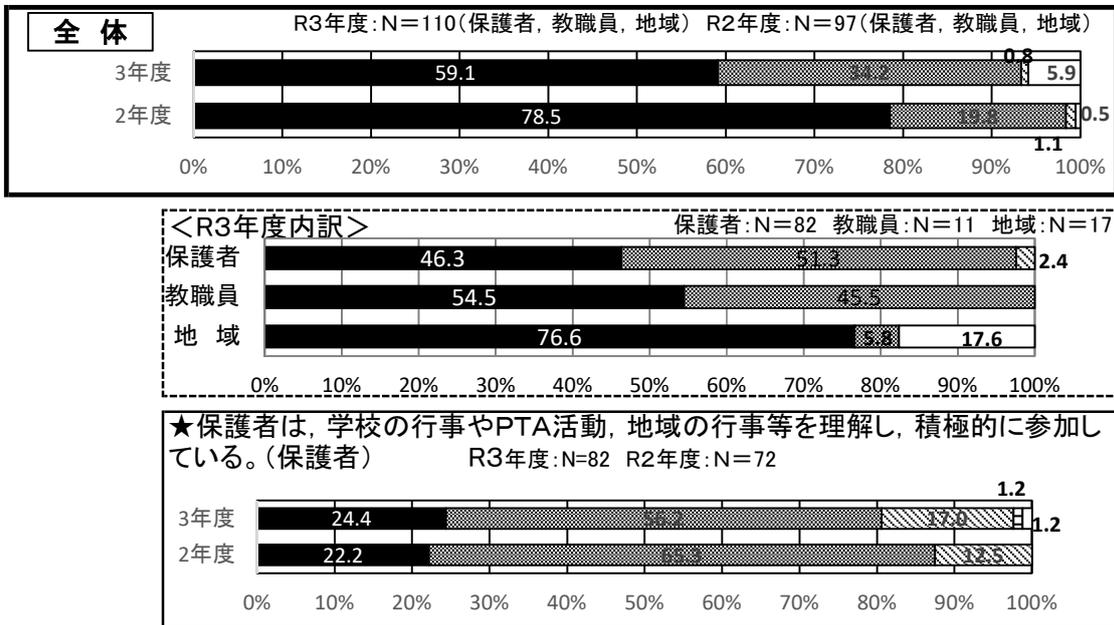
教育相談の学校の窓口は教頭ですが、教頭以外の担任や養護教諭や特別支援コーディネーターにお伝えいただいても結構です。また、本校の教員だけではなく、スクールカウンセラーや関係機関との相談もできますので、いつでも気軽にお声掛けください。

3 地域と共に歩む学校

⑨ 根白石小学校は、教育方針や教育活動について、保護者や地域に分かりやすく伝えている。



⑩ 根白石小学校は、行事などの教育活動を通し、各団体(PTA, 育成会, アセ踊り保存会, 市民センターなど)との連携を図り、地域に開かれた学校づくりに努めている。



<分かりやすい情報発信>

学校の教育方針や児童の活動の様子を文書や、学校ホームページのブログでもお伝えしてきました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、授業参観等が中止になることも多く、例年よりも学校ホームページや学校便りで子供たちの授業の様子を多く発信するように努めました。項目⑨の「教育方針や教育活動等の分かりやすい情報発信」については、昨年度よりは若干低いですが、90%以上の方に「おおむね良好」という回答をいただきました。

次年度も保護者や地域の方々に分かりやすい情報、楽しんで見ていただける情報の発信に努めます。また、緊急の場合には、一斉メール配信も行い、迅速に対応してまいります。

<地域に開かれた学校づくり>

項目⑩「地域に開かれた学校」に関しては、毎年、非常に高い評価をいただいています。今年の「おおむね良好」の評価は、若干低下したものの約95%となっており、皆様のご協力に大変感謝しております。今年度は、コロナ禍のため、回数の削減や活動の中止などを余儀なくされることもありました。感染対策を図りながら多くの学習活動にご協力いただきました。アセ踊り保存会の皆様や保護者・地域のボランティアの皆様には、大変お世話になりました。ありがとうございました。次年度も、より一層学校と地域の連携を深めてまいります。

★「保護者は、学校の行事やPTA活動、地域の行事等を理解し、積極的に参加している。」の質問に対しても80%以上の方に「おおむねあてはまる」と回答いただきました。コロナ禍のため、PTA活動も予定通りの実施ができないこともありました。学年行事等では、アイデアを出していただきながらできる範囲での実施を試みていただきました。ご理解とご尽力に誠に感謝いたします。こうした中ではありますが、次年度は、校外での子供の活躍を応援し、指導にも役立てるため、できる範囲で教職員が地域の行事等に参加したり、参観したりしたりもしながら連携を深めていきたいと思っております。

自由記述

〔保護者〕

全般	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな小学校とは違い、できる範囲で行事が行われて、ありがたく感じます。このような状況下でもたくさん行事をしていただけたことに感謝しています。次年度も期待しております。 ・コロナ禍で大変な中、運動会や野外活動など工夫して実施していただき、本当にありがとうございます。子供たちの大きな宝物になりました。感謝です。 ・コロナが続く中、子供たちのために工夫した対策をとって行事を行っていただきありがとうございます。対策について様々な意見があると思いますが、先生方がなんとかしてみんなが楽しめるように考えてくださったことが毎回よく感じられるので感謝しています。コロナが収まったら祖父母や親の友人まで見に来て賑やかだった学芸会が復活してほしいと思っています。 ・コロナだからできなくなったこと、しにくかったこともありますが、工夫次第で楽しいアイデアが生まれるチャンスと思えることがありました。保護者として地域の大人として子供たちや学校との関わり方を先生方におまかせしないで私たちが工夫しなければと思いました。 ・運動会でのソーラン節や野外活動を通して先生やお友達と触れ合う機会が多くなり、毎日の出来事で子供の考え方も変わり、周りを見ることができるようになったと思います。学芸会ではみんなで劇を作り上げることでいろいろな大変さもわかり、終わった後のみんなの笑顔がとても素敵でした。いつも支えてくださりありがとうございます。
運動会	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが学級の仲間と楽しみ、応援している姿が見られ、学校単独の開催がよかった。今まで地区による参加で、関わりや参加の意味、大切さもあったと思うが、今の地区の世帯数のばらつきでは地区ごとの開催は困難です。学校主体のみの運動会を希望します。 ・学校単独での開催となりましたが、とてもよかった。地区別では子供が減少していて地区対抗・応援合戦が難しい状況にあります。今回のようにすべてのお子さんが平等に楽しみ切磋琢磨している姿が見たいです。 ・次年度も学校のみで開催がいいと思います。 ・学校のみ競技でしたが、子供たちの一生懸命な姿に集中でき、全学年とも素晴らしいと感動しました。こういう運動会も良かったので、育成会や体振競技をハーフタイムに入れるなどの工夫の余地があるかと思いました。 ・今年は2日になったので、1日で終わらせてほしい。
学芸会	<ul style="list-style-type: none"> ・座席指定で保護者を入れ替え制にしたのがよかったです。 ・PTA本部の方が消毒をしてくださり、事前に席を抽選していて並んで密を避けることができ安心して観覧できました。ありがとうございました。 ・入れ替えごとに消毒をしていましたが、一人一枚ずつ消毒ペーパーを渡し、各人で拭き取り作業をすればもっとスムーズに入れ替えができたのではないかと思います。 ・演奏やダンスの時にマスクをはずしてほしかったです。子供たちの一生懸命に輝いている姿を表情を直に見たかったです。子供たちにとっては、一生に一度の6年生です。マスクで表情が分からない写真はかわいそうです。常日頃検温や感染対策を徹底してくださっているのだから、舞台に立つときだけでもと考えてもらいたかったです。 ・マスク着用で劇をすることが大変残念でした。感染対策は分かるのですが、国から言われていることが正しいのか先生方に個人として調べていただき、子供の成長を見守っていただきたいです。 ・子供も楽しんで取り組んでいましたが、「できれば他の学年の学芸会を見たかったな」と言っていました。コロナ対策と理解していますが、人数の少ないところを逆に活かして、一部でも見られたらお互いの刺激になるかと思います。 ・保護者の入れ替え制はとても残念です。自分の子はもちろん近所の子や友達の子など、他学年の子供の成長を毎年感じる事ができる場が学芸会だったので、DVDの貸出など、他学年の発表も見れるといいなと思いました。 ・自分の子供がいない学年の発表を見てみたい。学校参観の時など、使用していない教室で流していただけたらなと思いました。 ・1,2年が合同で劇をする理由は何かあるのでしょうか。人数がとても多く感じる点、低学年だからこそ指導には配慮が必要な点を考えてものびのびと子供たちが表現する場と考えるのであれば、学年別でよいのではないかと感じました。 ・コロナ以前に行っていた学芸会の芋煮は今後も行わなくてよいのではないかと。芋煮がないことで、すべての親が落ち着いて子供の演技や演奏をみる事ができたのではないのでしょうか。
校外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習も実施でき、学んで帰ってきた顔が本当に生き生きしていました。
修学旅行	<ul style="list-style-type: none"> ・今年もいろいろ中止になるかと思っていたが行くことができ子供もとても喜んでしました。 ・配慮してくださり、実施できてよかった。
授業参観	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観や学校参観の時に、教室内の柔軟剤などの匂いがきつく、頭痛で10分ほどしか参観できませんでした。子供たちは慣れたようですが、時々頭が痛くなるようです。 ・学校参観での風づくりで、ボンドを使用する際に結構服についたので、掃除用のエプロンを着用させたほうがよいと思いました。

〔地域関係者〕

- ・子供、教師、父母、地域住民が各々の立場で根小の教育活動に誇りを持つ「スクールアイデンティティ」を共有し、耕したいものです。先生方の日々の教育活動に敬意と感謝です。
- ・挨拶は読み聞かせに行った際にすごくしっかりしてくれます。外で会ったときにも気軽にできるように大人も子供もなれたらいいですね。気さくな大人を目指そうと思います。
- ・低学年の児童は元気よく朝の挨拶をするが、高学年になると恥ずかしいのか私たちが挨拶しても返してくれない子供もいるので、朝の「おはようございます」くらいは返事をするように望みます。
- ・私からはとくにありません。大変よい子に育てていただき諸先生方に感謝です。

令和3年度 第3回学校評議員会・学校関係者評価委員会 (令和4年1月28日開催)での各委員の皆様からの提言や感想です。

- ・学校行事については、児童数の増加も考えて、地域の参加の在り方を考えていくとよいのではないかと。スクラップ&ビルドの精神で、地域との話し合いを進めていってはどうか。
- ・地域との話し合いは重要であろう。一度学校側と地域側で集まる場を設けたい。
- ・根白石地区は人とかかわり方を学ぶことのできるよい地域だと思う。
- ・行事関係については、目の前の子供たちのことを大事にして計画をしてよいと思う。運動会についても一度地域、学校、育成会等で集まってざっくばらんに話し合うべき。新しく入ってきた方々も大切にして地域全体で支え合って行けるようにしたい。
- ・知識・技能の定着を目指したスキルタイムの取組はよいと思う。子供たちに力を付けるためにも授業で補えない反復練習等を大事にしてほしい。
- ・迎えに来た保護者や兄弟にも「お迎えありがとうございます。」と一声掛けるように心掛けている。ちょっとした挨拶から保護者や地域とのつながりを持つことが大切である。
- ・学校は子供たちをどう育てるとよいかということを考え、市民センターの地域人材ベースも活用するとよいのではないかと。児童館でも外部講師を招いての食育や人権教育に力を入れている。
- ・学芸会のみならず、児童数の増加に伴い、行事の内容を検討していく必要があるだろう。
- ・次年度の行事について、特に運動会については地域との連携をどのようにしていくべきか、考えていく必要があると思う。地域の皆様のご意見をうがっていききたい。
- ・コロナ禍であり、地域とのイベントもほとんどない状況だった。学校だけでなく、PTAでも地域とかかわりを働き掛けていきたい。
- ・保護者としては、子供が元気に学校に通うのが一番である。
- ・コロナ禍で自分の祖父母にもなかなか会えない状況でもある中、根白石地区は、地域のおじいちゃんおばあちゃんに関わることができる地域である。こうした機会を大事にしてほしい。

今年度の教育活動も新型コロナウイルス感染症感染対策を取りながらの実施となりました。運動会や学芸会、校外学習等は、児童の成長にとってとても大切なものです。そして、コロナ禍であっても児童がチャレンジできる場、輝ける場、多くの人と関われる場、見分を広める場などは必要です。

次年度もコロナ対策を講じながらの教育活動になると予想されますが、保護者の皆様、地域の皆様からいただいたご意見をもとに、根小の児童が心身ともに健やかに成長できるよう、学習面と生活面の計画・実施をしていきたいと思っております。今後も本校の教育活動にご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

なお、今年度の反省を受け、学習の基礎基本の一層の定着を図るスキルタイムの設定等の手立てを講じるために、週時程と日課時刻表（時間割）の見直しを図りました。年間行事予定（3月7日現在の予定）と一緒に配布いたしますので、ご確認の程よろしくお願いいたします。